

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第22週の発生動向

トピックス

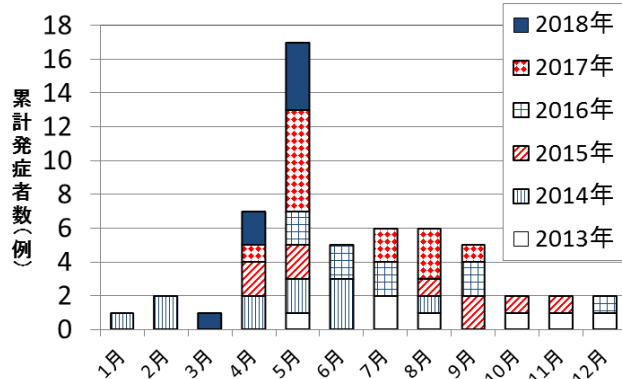
・重症熱性血小板減少症候群（SFTS）

（全数報告の感染症）の報告が延岡保健所管内からあった。患者は90歳代男性で、発症は5月下旬であり、ダニの刺し口は確認出来なかった。県内での報告は今年7例目で、累計56例（平成25年3月届出開始以降）となった。

県内のSFTS 年齢別報告数（届出開始以降）

30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	14	20	14	4

県内のSFTS月別発症者数（届出開始以降）



□ 全数報告の感染症（22週までに新たに届出のあったもの）

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 1 例。3 類感染症：報告なし。

4 類感染症：重症熱性血小板減少症候群 1 例。5 類感染症：百日咳 13 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	延岡	40 歳代	男	無症状病原体保有者	—
4類	重症熱性血小板減少症候群	延岡	90 歳代	男	—	発熱、神経症状、下痢、食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少

	疾患名	報告保健所	報告数	年齢群				症状
				0～4歳	5～9歳	10歳代	20歳代	
5類	百日咳	宮崎市	3例	1			2	持続する咳、夜間の咳き込み、ウーブ、嘔吐、無呼吸発作、白血球数増多
		日南	3例			3		
		高鍋	6例	1	4	1		
		日向	1例				1	

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は1,087人（定点当たり33.2）で、前週比111%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は手足口病で、減少した主な疾患はインフルエンザである。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【咽頭結膜熱】

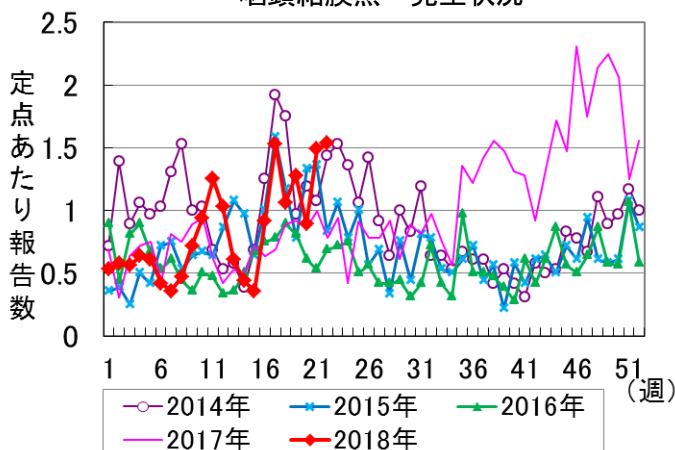
報告数は54人（1.5）で、前週比104%とほぼ横ばいであり、例年同時期の定点当たり平均値*（1.1）の約1.5倍である。中央（5.0）、日南（3.7）保健所からの報告が多く、年齢群別では1歳が全体の約半数を占めている。

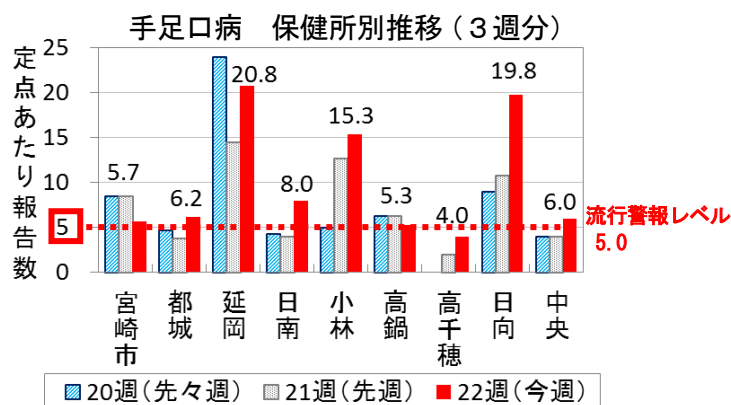
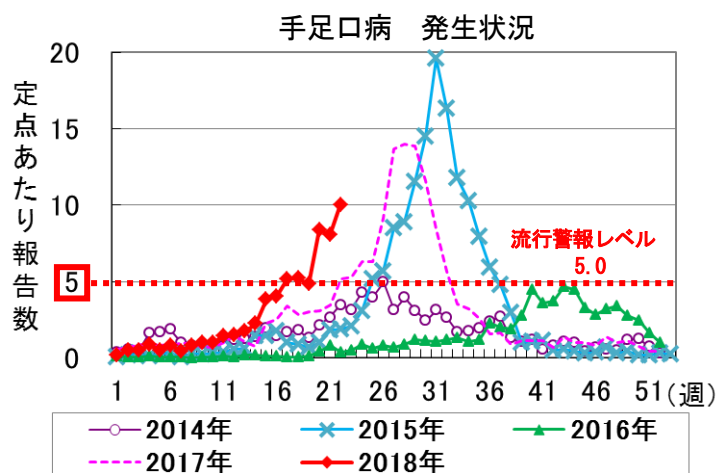
【手足口病】

報告数は351人（10.0）で、前週比125%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*（2.2）の約4.6倍である。延岡（20.8）、日向（19.8）、小林（15.3）保健所からの報告が多く、年齢群別では1～3歳が全体の約7割を占めている。

* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均

咽頭結膜熱 発生状況



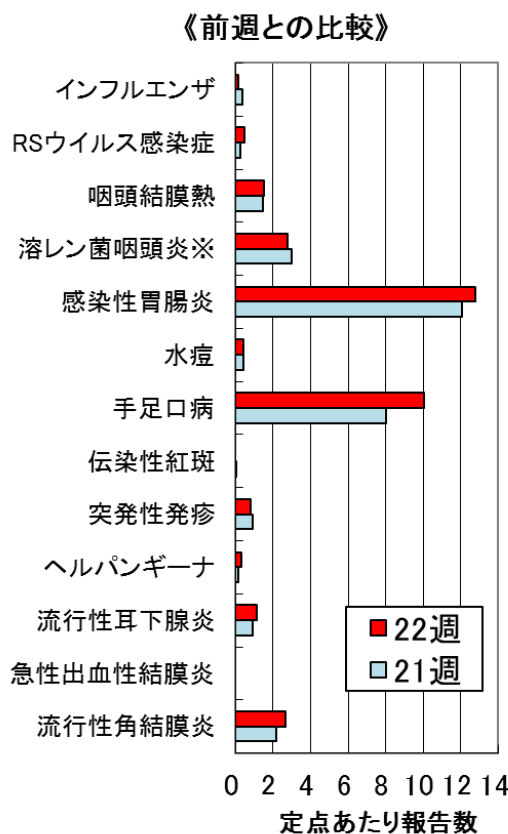


★基幹定点からの報告★

報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	手足口病(5.7)
都城	手足口病(6.2)
延岡	手足口病(20.8)
日南	咽頭結膜熱(3.7)、手足口病(8.0)、流行性耳下腺炎(12.3)
小林	感染性胃腸炎(33.3)、手足口病(15.3)
高鍋	手足口病(5.3)
高千穂	なし
日向	手足口病(19.8)
中央	咽頭結膜熱(5.0)、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(16.0)、感染性胃腸炎(42.0)、手足口病(6.0)



※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

＊流行警報レベル開始基準値＊

- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)
- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・手足口病(5.0)
- ・流行性耳下腺炎(6.0)

□病原体検出情報 (衛生環境研究所微生物部 平成 30 年 6 月 4 日までに検出)

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Salmonella属菌 血清型不明 (O3,10:r:Z6,1)	60歳代	男	2018.05.11		便	2018.05.25
EHEC (O121:H19 VT2)	80歳代	女	2018.05.14	腹痛、水様性下痢、血便、発熱	便	2018.05.24
EPEC (OUT:H21)	10歳代	男	2018.05.14		便	2018.05.25
EAggEC (O111:H21)	5～9歳	女	2018.05.15	下痢、嘔気	便	2018.05.25
Bordetella pertussis (百日咳菌)	0～4歳	女	2018.05.18	気管支炎	咽頭ぬぐい液	2018.05.22
Bordetella pertussis (百日咳菌)	0～4歳	男	2018.05.20	無呼吸発作	咽頭ぬぐい液	2018.05.22
Bordetella pertussis (百日咳菌)	20歳代	女	2018.05.22	百日咳疑、咳	咽頭ぬぐい液	2018.05.25
Bordetella pertussis (百日咳菌)	20歳代	男	2018.05.23	百日咳疑、咳	咽頭ぬぐい液	2018.05.25
Salmonella Schwarzengrund (O4:d:1,7)	5～9歳	女	2018.05.22		咽頭ぬぐい液	2018.05.31
Bordetella pertussis (百日咳菌)	10歳代	男	2018.05.24	百日咳疑、咳	咽頭ぬぐい液	2018.05.29

○今年度初めて腸管出血性大腸菌 (EHEC) が分離された。EHEC は腸粘膜への接着に必要なインチミン遺伝子 (eae) を保有していることが多く、大腸粘膜に付着して増殖する際に毒素を産生する。その結果、感染局所に出血・浮腫・壊死が起こり、腹痛と水様性下痢に続いて鮮血便をきたす。さらに、嘔吐や発熱を伴う場合もある。これから気温の上昇とともに患者数が増加傾向になることから、今後の発生動向に注意が必要である。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
ヒトヘルペスウイルス6	0～4歳	男	2018.02.08	急性脳症疑い、40.0℃、熱性けいれん、意識障害	咽頭ぬぐい液	2018.05.25
ヒトヘルペスウイルス6	0～4歳	女	2018.02.28	右跛行、38.7℃、麻痺	咽頭ぬぐい液	2018.05.25
ヒトヘルペスウイルス6	5～9歳	男	2018.05.21	けいれん重積、38.7℃、けいれん(無熱時)	咽頭ぬぐい液	2018.05.31
RSウイルス	0～4歳	男	2018.02.05	インフルエンザA型、RSV、下気道炎(気管支炎)	咽頭ぬぐい液	2018.05.22
RSウイルス	5～9歳	女	2018.04.12	気管支炎、38.0℃、下気道炎(気管支炎)	咽頭ぬぐい液	2018.05.22
パラインフルエンザウイルス3型	0～4歳	女	2018.04.02	急性気管支炎、41.0℃、下気道炎(気管支炎)	鼻汁	2018.05.22
パラインフルエンザウイルス3型	0～4歳	男	2018.04.16	気管支喘息、39.1℃、下気道炎(気管支炎)	咽頭ぬぐい液	2018.05.22
ヒトコロナウイルスOC43	0～4歳	男	2018.04.02	百日咳・細気管支炎、38.0℃、下気道炎(肺炎・気管支炎)、呼吸不全	咽頭ぬぐい液	2018.05.24
ヒトコロナウイルス229E	20歳代	男	2018.04.12	麻疹疑い、37.3℃、口内炎、上気道炎、頭痛、倦怠感、咳、鼻水	咽頭ぬぐい液	2018.05.30
ライノウイルス	0～4歳	男	2018.05.03	麻疹疑い、39.0℃、鼻水	咽頭ぬぐい液	2018.05.24
パラインフルエンザウイルス3型 ライノウイルス	0～4歳	女	2018.04.10	急性気管支炎、39.9℃、下気道炎(気管支炎)	鼻汁	2018.05.22 2018.05.24
RSウイルス ライノウイルス	0～4歳	男	2018.05.07	不明の発疹症(RSV感染症)、39.3℃、気管支炎、発疹(紅斑)	咽頭ぬぐい液	2018.05.22 2018.05.24

○呼吸器症状のある乳児1名、幼児2名からパラインフルエンザウイルス3型(PIV3)が検出された。全国における2018年のパラインフルエンザウイルス分離・検出状況を見ると、2018年6月4日現在、PIV1が27件と最も多く、次いでPIV2が14件、PIV4が4件、PIV3が2件となっている。当所では今年に入りPIV3が3件検出されており、他の型は検出されていない。PIV3は肺炎や細気管支炎を起こす頻度が高く、毎年春から初夏にかけて流行がみられ、全国的にも年間を通した検出報告数が最も多くなっていることから、今後の動向に注意する必要がある。

🇯🇵 全国 2018 年第 21 週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (全国第 21 週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	309 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	90 例		
4類感染症	E型肝炎	8 例	A型肝炎	26 例	エキノコックス症	1 例
	重症熱性血小板減少症候群	5 例	つつが虫病	7 例	デング熱	3 例
	日本紅斑熱	7 例	マラリア	2 例	レジオネラ症	47 例
5類感染症	アメーバ赤痢	11 例	ウイルス性肝炎	6 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	20 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	6 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6 例	後天性免疫不全症候群	10 例	ジアルジア症	3 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5 例	侵襲性肺炎球菌感染症	55 例	水痘(入院例)	5 例
	梅毒	75 例	播種性クリプトコックス症	1 例	破傷風	3 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例	百日咳	131 例	風しん	4 例
	麻しん	3 例				

麻しんの報告数は3例であった。福岡県(2例)、大阪府(1例)から報告があり、10歳未満、10歳代、20歳代(各1例)であった。第1週から第21週までの累積報告数は164例となり、沖縄県(88例)、愛知県(25例)、福岡県(19例)、東京都(11例)が多い。

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 99%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患は咽頭結膜熱、水痘及びヘルパンギーナで、減少した主な疾患はインフルエンザである。

RSウイルス感染症の報告数は949人(0.30)で前週比100%と同率であり、例年同時期の定点当たり平均値*(0.13)の約2.3倍である。沖縄県(3.4)、新潟県(1.2)、北海道(1.0)からの報告が多く、年齢群別では2歳以下が全体の約9割を占めている。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2018年 第22週(05月28日～06月03日)

疾病名		第21週	第22週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	21	9	1	8							
	定点あたり	0.36	0.16	0.07	0.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	9	16	13		1		1	1			
	定点あたり	0.26	0.46	1.44	0.00	0.25	0.00	0.33	0.25	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	52	54	15	3	5	11	1	6		8	5
	定点あたり	1.49	1.54	1.67	0.50	1.25	3.67	0.33	1.50	0.00	2.00	5.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	104	98	22	20	12	7	3	6	1	11	16
	定点あたり	2.97	2.80	2.44	3.33	3.00	2.33	1.00	1.50	1.00	2.75	16.00
感染性胃腸炎	報告数	422	447	84	72	18	36	100	22	19	54	42
	定点あたり	12.06	12.77	9.33	12.00	4.50	12.00	33.33	5.50	19.00	13.50	42.00
水 痘	報告数	14	15	3	3			5	4			
	定点あたり	0.40	0.43	0.33	0.50	0.00	0.00	1.67	1.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	281	351	51	37	83	24	46	21	4	79	6
	定点あたり	8.03	10.03	5.67	6.17	20.75	8.00	15.33	5.25	4.00	19.75	6.00
伝染性紅斑	報告数	1										
	定点あたり	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	32	29	7	3	5	4	3	3		4	
	定点あたり	0.91	0.83	0.78	0.50	1.25	1.33	1.00	0.75	0.00	1.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	6	12		2	9	1					
	定点あたり	0.17	0.34	0.00	0.33	2.25	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	32	40	1	2		37					
	定点あたり	0.91	1.14	0.11	0.33	0.00	12.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜 炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	13	16	13		3						
	定点あたり	2.17	2.67	4.33	0.00	3.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:35(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数

下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2018年第1週～22週)

2類感染症	結 核	74例(1)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2例				
4類感染症	E型肝炎	3例	A型肝炎	21例	重症熱性血小板減少症候群	7例(1)
	つつが虫病	1例	日本紅斑熱	2例	レジオネラ症	4例
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	2例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	7例
	急性脳炎	5例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例
	後天性免疫不全症候群	4例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例	侵襲性肺炎球菌感染症	19例
	水痘(入院例)	1例	梅 毒	1例	播種性クリプトコックス症	2例
	破傷風	2例	百日咳	133例(13)	風しん	1例

()内は今週届出分、再掲